(2019.4改正)

＜別紙１＞

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：ウッズ保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：二村　昌代	定員（利用人数）：60名
所在地：〒223-0053 横浜市港北区綱島西2-1-7MAC綱島コート2階	
TEL：045-547-6151	ホームページ： https://hoikushitsu-woods.com/

【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2019年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：一般社団法人保育室ウッズ		
職員数	常勤職員：14名	非常勤職員：9名
専門職員	（専門職の名称）：　名	栄養士：1名
	保育士：20名	調理師：1名
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室	調乳室
	幼児室	調理室
	ほふく室	幼児用トイレ
	遊戯室	乳児用トイレ
		事務室
		医療コーナー
		沐浴室
		園庭
		多目的トイレ
		大人トイレ

③理念・基本方針

＜理念＞
お母さんが安心してこどもを預けられ、預けられたこども達も安心して過ごし成長していける場を提供します

＜保育方針＞
１．子ども本来の姿である【遊び】が充分に出来る環境の中で充分に遊び、仲間や集団を感じていく。
２．集団遊び・表現遊び（リトミック・劇遊び）等皆で遊ぶことの楽しさを感じながら、その中で自分を発揮する意欲や協調性、社会性を育てていく。
３．毎日の戸外遊びで自然界の中での発見や不思議さを体験し豊かな感性を育てていく。
４．動植物を飼育栽培する体験を通じて優しい気持ちや命を大切にしようという気持ちを育てていく。

５．生きる力（いろんな事に興味を持ち、自分で考え、自分で解決する力）を育てよう！ ＜保育目標＞ 【のびのび保育】　自然の中で、自然を先生とした保育 【おおらか保育】　子どもの本来持っている「遊びの心」を重視した保育 【　混合保育　】　大きな子も小さな子も混ざっての暖かい保育 【 家庭的保育 】　お母さんの感覚で接する保育 【 安全な給食 】　安全な食材を使用した手作りの保育

④施設・事業所の特徴的な取組

＜ウッズ保育園の特長ある取り組み＞ ●60人定員制の小さな保育園です。その小ささを大事に一人一人に寄り添い家庭的な保育を行っています。 ●保護者と職員の距離が近く疑問に思ったことや相談事には耳を傾け対応をしています。 ●子どもの健康づくりは食事が基本と考えています。食材にこだわり、作り手が分かる無農薬、添加物が入っていない等、安心・安全な食材を使用しています。出汁もかつお節、煮干しをたっぷり使用して自園調理をしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年07月05日（契約日）　～ 2022年03月24日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

【ウッズ保育園の概要】 ●ウッズ保育園は、東急東横線綱島駅から徒歩2分の至近距離にあります。保護者が通勤する渋谷方面・横浜方面ともにアクセスしやすく、駅前には買い物に便利な綱島商店街があり、利便性の良い場所に位置しています。園の周辺は、商業地区のみならず、緑豊かな「綱島公園」や「綱島市民の森」も点在し、すぐ近くの鶴見川の土手でも遊べ、子どもたちは喧噪と逆に自然を満喫しながら伸び伸びと過ごせる環境にあります。 ●ウッズ保育園は、前代表の「お母さんが安心してこどもを預けられ、預けられたこども達も安心して過ごし成長していける場を提供したい」という思いの下、平成2年4月に「任意団体W.COすくすく」を設立し、横浜保育室「保育室ウッズ」を開設しました。平成28年6月、法人格を取得し、一般社団法人保育室ウッズとして継続して運営してきました。園長は、横浜保育室当時から保育士として従事し、保育室ウッズの歴史と共に歩んできた貢献から、前代表より「保育室ウッズ」を継承し、代表理事として経営及び、園長として運営を担い、継承後、令和元年4月に認可保育園として「ウッズ保育園」へと改名し、展開を図っています。 横浜保育室から21年間、さらに、「母親と子どもと保育士が笑顔になれる保育園」を目指していきます。 ●園舎は、テナントや駐車場が併設している地下1階、地上８階建てのマンションの２階部分の一区画を保育園として改装し、3階から上階は居住フロアとなっています。園舎は、玄関を入ると多目的ホールがあり、正面に事務室があり、事務室を中心に、左に0歳、1歳児の保育室、右側は大きな１つの保育室に2歳児、3歳児、4歳児、5歳児が各仕切りを設けながら異年齢保育を行っています。事務室の奥には十分なスペースを確保した調

理室が設けられ、この園の特長でもある安心・安全で食材にこだわった美味しい食事を提供しています。

◇特に評価の高い点
1．【自然を取り込んだ豊かな保育活動】
●ウッズ保育園では、園の特徴的な取り組みである、「のびのび保育」、「おおらか保育」を実践しています。天気の良い日には１日に２回の散歩(外遊び)を保育活動の中に取り入れ、園の直ぐ近くの鶴見川の土手で、子どもたちが段ボール滑り等をして思いっきり体を動かして遊び、綱島公園・市民の森では発見した虫や植物に触れながら、自然に触れる機会を多く持つことで、新たな発見や不思議さを体験し、子どもたちの興味や豊かな感性を育み、創造力を広げる保育活動を行っています。

２．【子どもの健康づくりに欠かせない給食提供】
●ウッズ保育園では、子どもの健康な身体作りに取り組んでいます。保育目標に「安全な給食」を掲げ、自園で献立・調理を行い、給食・おやつを提供しています。特に、子どもの健康づくりに欠かせない食事において、安全・安心な食事を摂ることができるよう、食材の産地・低農薬・無添加にこだわって給食を提供しています。
味付けも、厳選したかつお節や煮干等から出汁を取り、素材本来の味、食材そのものを感じ、子どもの味覚を鍛えるよう支援しています。保護者アンケートでも高い評価が得られています。

◇改善を求められる点
1．【ICT化への取り組みについて】
●ウッズ保育園では、日常業務の効率化・職員の負担を軽減するために現在、ICT化を進めています。現状、システムを上手く使いこなせない、操作が複雑であり入力に時間を要し、作業効率化が図れない等、不具合等も少なからず生じています。また、機器の操作が不得手な職員に対して、得意な職員が教えながら業務を進める等、付随業務が発生することも懸念されます。今後、ICT化に関する勉強会や研修機会を設け、全職員がICTを有効活用できるよう、業務の実効性の向上を図り、取り組んでいかれることを期待いたします。

２．【保育理念、保育目標等の統一化について】
●ウッズ保育園の保育目標、保育の特徴、保育方針、基本方針、運営方針の明示について、重要事項説明書、ホームページ、全体的な計画等の記載に相違が見られ、統一がされていません。例えば、重要事項説明書に記載されている「保育の特徴」がホームページでは「保育目標」として明示され、全体的な計画での「園の保育目標」には違った文言で記載されています。また、全体的な計画の「保育の計画と評価」では、『保育の目標を達成するため、方針や目標に基づき～』と記載されており、多様の保育目標において職員の共通認識や意思域統一にブレが生じると懸念されます。さらに、保護者へ園の方針、目標の理解につながり難い要因となり得ます。保育理念、事業運営方針についても、「ウッズ保育園の保育」、全体的な計画の記載に相違があり、保育園規約、重要事項説明書には記載されていませんので、これを機に保育理念、運営方針、保育目標、保育方針、保育の特徴等の内容を見直し、全体の統一化を図るよう望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：　ウッズ保育園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

横浜保育室から認可保育園に移行して、より良い保育をするために改善点を見つける対応をして行きたいと思い、第三者評価を受けました。職員一人ひとりの、園に対しての自己評価をしたことにより、課題がいくつか明確に知ることができました。管理者として、職員一人ひとりの思い等も知る機会になりました。
保護者の方には、お忙しい中、アンケートにご協力下さいましてありがとうございました。アンケートからもいくつかの課題と、保護者の方に沢山のご協力をしていただきながら運営ができていることを改めて感じ、感謝しております。
また、評価機関のご担当の方には自園の保育の良いところ等も教えていただき、今までの保育に自信がつきました。課題につきましては、今後の取り組み方をアドバイスしていただきました。これからの園のあり方について、様々なことを知るとても良い機会になりました。ありがとうございました。

<評価後取り組んだ事として>

１．保育理念・保育方針・保育目標を、重要事項説明書に基づき懇談会や入園説明会、見学会等で伝えてきましたが、ホームページと書き方が逆になっていたりしたのでそこを訂正しました。また、なるべく早くにパンフレット作成を行いたいと思います。

２．卒園後の相談場所として、園長や主任が窓口になり相談を受けることをお話ししていましたが、それをきちんと明文化し文章で掲げるようにしていなかったので、重要事項説明書に記載し、誰もが把握できるようにしました。

３．認可移行後、新型コロナウイルス感染症拡大のため、地域の方との交流や支援ができなかったので、新年度は地域支援の担当を決め、少しずつ地域支援が行えるようにして行きます。

４．職員の経験年数に応じた期待するレベル等に関して明文化し、職員のキャリアアップにつながるような給料表等の作成を行いました。

５．今回の結果は職員間で共有し、これからも一人ひとりに寄り添い、家庭的な温かい保育を提供しながら子どもたちだけではなく保護者支援、また地域支援を行っていき、地域に根差した保育園になるようにと思っております。

⑧第三者評価結果

別紙２のとおり